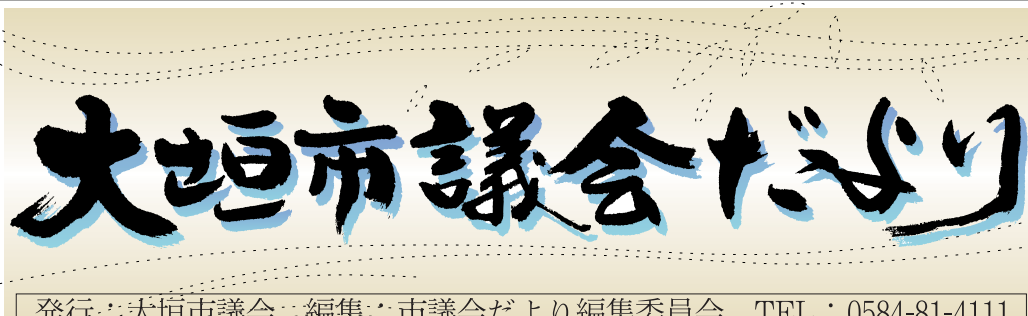
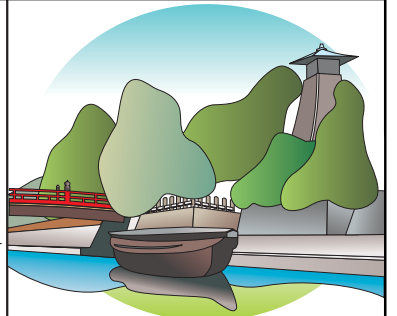


情報の港 大垣市情報工房



発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-81-4111



文化の港 住吉燈台

議席番号	議員氏名	住所	議席番号	議員氏名	住所
①	野村 いちえい	船町5	⑮	高橋 滋子	直江町
②	石田 仁	外野1	⑯	中野 清	島里2
③	笹田 トヨ子	室町2	⑰	野村 幸弘	笠木町
④	野田 のりお	赤坂新町4	⑱	横山 幸司	馬場町
⑤	川上 孝浩	枝郷4	⑲	野村 幸平	西崎町1
⑥	小倉 嘉美	大島町1	⑳	横山 幸三	旭町1
⑦	小加納 賢次郎	高屋町2	㉑	野村 幸三	楽田町1
⑧	岡本 敏美	牧野町1	㉒	野村 幸三	荒尾町
⑨	岡本 敏弘	稲葉北2	㉓	野村 幸三	川口4
⑩	石川 まさと	禾森町2	㉔	野村 幸三	十六町
⑪	岩井 哲二	坂下町	㉕	野村 幸三	長松町
⑫	岩村 文彦	静里町	㉖	野村 幸三	寺内町2
⑬	丸山 新吾	林町8	㉗	野村 幸三	三塚町
⑭	岡田 まさあき	藤江町7	㉘	野村 幸三	切石町1

平成十五年四月二十七日執行  
 二十八人の議員決まる



奥の細道むすびの地・舟下り芭蕉祭

## 第一回市議会定例会 平成十五年度一般会計予算 など五十六議案を審議

- 平成十五年度一般会計予算 四百七十二億五千万円
- 平成十五年度特別会計予算 五百四十億一千四百万円
- 平成十五年度企業会計予算 二百八十九億七千八百万円
- 総計 一千三百一十二億四千二百万円
- ◇予算関係 十七件
- ◇条例関係 十九件
- ◇請願 五件
- ◇意見書 三件
- ◇その他 十四件

### 第二回市議会定例会日程

三月三日	本会議 (提案説明)
十一日	本会議 (一般質問)
十三日	合併に関する委員会 (中心市街地活性化)
十四日	対策委員会 (大垣駅北口周辺整備)
十七日	広域圏対策委員会 (市民病院に関する委員会)
十八日	建設委員会
十九日	経済委員会
二十日	厚生委員会
二十四日	総務委員会
二十六日	議会運営委員会
三十一日	本会議 (合併に関する委員会)

去る三月三日から平成十五年第一回定例会を開会し、平成十五年度大垣市一般会計予算、平成十四年度大垣市一般会計補正予算、大垣市男女共同参画推進条例の制定など五十四議案を審議し、請願三件を除く五十一議案を原案どおり可決。その後、会期を三十一日まで五日間延長し、西濃圏域合併協議会規約の変更に關する協議についてなど二議案を原案どおり可決し、閉会しました。

**平成十五年度予算編成の基本方針**

市の財政環境は、長引く景気の低迷と少子高齢化の進行により、個人及び法人市民税並びに固定資産税の落ち込みから歳入の根幹をなす市税は、前年度を大幅に下回る予測を立てている。

歳出は、市債借入れの抑制を図ってきた結果、公債費が前年度を一億円程度下回ったが、依然高い水準にあるのに加え、少子高齢化の進展等により扶助費が前年度比十七・七%増加するなど財政が硬直化する厳しい状況が続いている。

このため、第三次行政改革大綱に基づき、徹底した経費の見直しを図り、限られた財源の有効活用を努めた。議員定数削減や、三役の給与引下げ、職員の調整手当の引下げ等により、財源を捻出し、新規事業の中学校の非常勤講師の配置や地域安全パトロールに充てるなど、雇用の創出を図っていききたい。

**重点施策の概要**

『夢ある事業』

未来に向けて、市民が誇りうる大垣創出のための重要政策課題である、安全安心、都市活性化、少子高齢化、ICT戦略、地域協働社会の五分野において、予算を重点的に配分し、メリハリのある予算とした。

『安全・安心』では、昨年七月の台風六号の豪雨災害の教訓を踏まえ、大谷川、杭瀬川などの一級河川の早期改修を国・県に積極的に要望していくとともに、大垣市排

水基本計画を見直し、支庁箇所を中心に改修に努めていく。荒崎地区の浸水防除対策は、地元住民との話し合いに努め、水防土の積みなどが早期に実施できるように最大限の努力をしていく。

また、地域防災計画の見直しや地震防災マップの作成など、市民の防災意識の向上と啓発を図っていく。

さらに、関係機関との連携をとりながら市内全域を総合的にパトロールする、地域安全パトロールを実施し、市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っていく。

**「都市活性化」**では市内全事業所の実態調査の結果をもとに、事業者のニーズを捉えた、産業活性化アクションプランを策定し、全庁体制で本市産業の活性化に取り組む。

また、本市は俳聖松尾芭蕉が、日本文学史上最高傑作とつたわれる、奥の細道の紀行を結んだ地として知られている。西暦二〇〇四年は、芭蕉翁生誕三百六十年に当たることから、今年から来年にかけて芭蕉をテーマに地域に活力を生みだしていきたい。

さらに、本市に伝わる、おあん物語にちなみ、水門川でのたらい舟による川下りの運行や、県が十月にニューヨークで開催される織部・アメリカ展などのプレイベントとして、四季の広場などで野だてと句会を開催するなど、奥の細道むすびの地と水都大垣を象徴する水門川を活用したストーリー性のある事業を展開し、人々の

の交流を通じた活性化対策を図っていききたい。

**「少子高齢化」**では平成十四年度から小学校において実施している学習支援事業「水都子プラン」を拡充し、中学校一学年で多人数学級のある学校に非常勤講師を配置し、学校生活への円滑な適応や学習のつまずき防止を図るなど不登校の未然防止に取り組む。

また、完全学校週五日制の実施を機に地域の教育力を生かした社会体験、自然体験などの活動が各地域で展開されており、本年度は地域の企業・事業所を訪問し、職場体験や奉仕活動を行う「地域企業体験奉仕活動推進事業」を新たに実施し、既に進められているスイトピア子どもクラブ事業などの事業を合わせ、大垣まるごと土曜学園として総合的に展開を図り、将来の大垣を担う青少年の育成に努めていく。

**「IT戦略」**では、時代や技術の動向に的確に対応しながら着実な事業展開を図っていく。特に、開館後五年を経過した情報工房の機器設備等をリニューアルし、情報基地機能の強化を図るほか、小学校全校のブロードバンド化の実現、海外の学校とのIT交流の推進など、情報都市にふさわしい教育環境の充実に努めていく。

**「地域協働社会」**では、活動になってきた市民活動団体の活動を支援するため、活動拠点を整備するとともに、市民活動団体の公益的な活動に助成し、公民協働によるまちづくりを進めていく。

**「効率的な行政」**  
昨年度は試みに行政コスト計算書を作成し公開したが、こじつした手法を改善しながら取り入れていきたい。

**「開かれた行政」**  
広報紙やホームページなど

# 一般質問

三月十一日、一般質問を行いました。

### 合併について

**質問**：現在の合併の枠組みでは、人口は二倍、面積は六倍となるが行政サービスは低下や住民負担の増にならぬか。

合併のビジョンの構築はどのようなものか。地域ごとに住民参加の審議会の設置が必要ではないか。

新市建設計画に広く市民の意見が反映されるあり方についてどう考えるか。

**答弁**：合併後のビジョンの構築については、合併特例法でマスタープランとして新市建設計画を作成することになっており、西濃圏域合併協議会の新市建設計画作成小委員会での協議を踏まえ、作成される予定である。また、各市町の歴史や文化伝統など地域特性を考慮するとともに、地域資源を最大限に活用できるような計画としていきたい。

を活用し、行政情報の積極的な公開に努めるほか、行政の諸課題について、市民のみなさんに問題を提起し、一緒に考えていくという問題提起型の新しい手法を取り入れ、開かれた行政を推進していく。

地域審議会のあり方については、九市町という全国的にも大きな枠組みの合併でもあり、また面的にも約四百三十平方キロメートルと広く、それぞれの地域特性を活かしたまちづくりを進めるために、地域審議会の設置が考えられ、その機能や権限、設置期間等を含め、また地域の実情等を考慮しながら、合併協議の中で検討していききたい。

市民参加のあり方については、新市建設計画に住民意見を十分反映するため、合併協議会で地域住民百人以上のワークショップの開催が計画されている。さらに、広報紙やホームページなどによる合併情報の提供や、住民説明会の意見聴取なども予定されるなど、住民意見の反映したまちづくりが進められるものと確信している。

### 合併について

**質問**：合併前に大型事業

を駆け込みで行い、借金は新市に押し付ける、駆け込み事業をお互いに行わないために、合併協議会で申し合わせる必要がある。

**答弁**：国・地方における極めて厳しい財政状況を考えると、市町村合併を契機に、事業組織の見直しなど行政のスリム化を図っていく必要がある。

西濃圏域合併協議会の構成九市町では、それぞれの地域の状況に応じ各種事業が実施されているが、合併後の新市において重複することのないよう、将来の事業計画について、関係市町と十分協議する。合併以前に実施される事業についても、財政状況・事業の実施状況などを踏まえながら、協議していききたい。

### 公用車について

**質問**：公用車として高級車が必要か。

**答弁**：休日や時間外など、日々の業務が激務であり、また身辺警護の観点からも送迎に利用しており、今後とも適正な使用に努めたい。

### 非常勤職員について

**質問**：本市には留守家庭児童教室指導員、地区センター館長など非常勤職員が九十六人採用されている。

先日、非常勤職員への期末手当の支給は違法の疑いがあるとの新聞報道があり、これを受けて期末手当の廃止が検討されているとのことだが、非常勤職員の年収ベース

を確保するような対応を強く望む。

**答弁**：本市の非常勤職員に対する報酬は、月額報酬と期末勤勉手当相当額を支給している。地方自治法では、非常勤職員に対し、報酬及び費用弁償以外の給付を認めないが、国の一般職の職員の給与に関する法律やその通達で、国の非常勤職員に対しては、非常勤職員に支給される期末手当及び勤勉手当等の権衡を考慮して取り扱っていくことが定められている。

このため、国と地方との取り扱いの差異などの是正を求め、一方、市民の負担に配慮するため、人件費の削減など、さらに効率的な行政運営が強く求められており、非常勤職員の報酬については、現行の水準と勤務条件を含めた他都市の報酬水準などを考慮し、給付方法を調整したい。

なお、すべての非常勤職員に、現行の報酬額の全額を補償することは、困難であるが、要資格職種などについては、期末勤勉手当相当額について調整を図っていききたい。

### 特別職の退職手当について

**質問**：現下の厳しい財政事情の中特別職の退職手当について今一度検討してどうか。

**答弁**：退職手当の支給率は、岐阜県市町村職員退職手当組合の支給率に準じている。

この退職手当組合は、全

国的に各都道府県単位で設立されており県内では岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市及び中津川市を除く県内全市町村が加入している。未加入の団体でも岐阜市、高山市及び関市以外は退職手当組合に準じた支給率により退職手当の支給を行っている。

これは、退職手当組合の支給率が県内の標準的な指標となるものと考えられるため、準じたものである。

現下の厳しい財政状況を考慮して、一任期当たり市長の退職手当で約十五万円、四役合わせると約十五万円、およそ七百九十万円の削減を行う。

今後は、より経済情勢の変化や財政状況に対応した支給率の見直しも視野に入れ、特別職報酬等審議会などの第三者機関の意見を参考とする方法の導入などの検討を進めていききたい。

### 開票時間の短縮について

**質問**：選挙時の開票時間の短縮について

**答弁**：特に市議選の場合、疑問票の審査などに時間がかかり、午前零時までの作業終了は困難だが、迅速正確な開票に努める。

### 照手姫の水汲み井戸の史跡指定について

**質問**：市内青墓町にある照手姫の水汲み井戸は、小栗判官照手姫物語の伝承地として保存されているが、今

後、市の史跡として指定し、保存することはできないのか。

答弁…青島町地内は国指定史跡の美濃国分寺跡や昼飯大塚古墳など国内でも屈指の文化財を有する地域であり、また保元の乱や梁塵秘抄りょうじんひしよつゆかりの地など多くの伝承が存在している。

小栗判官照手姫物語もその一つとして地域の人々によく知られ、その物語に登場する照手姫の水汲み井戸は、伝承地として現在も親しまれている。

井戸の史跡指定については、現在の市の指定には歴史資料等の史実の裏付けが必要であり、指定文化財として指定できないものと考え、今後とも、照手姫水汲み井戸の伝承地が本市の名所となるよう保存に努めたい。



照手姫の水汲み井戸

### まちづくり市民活動 育成事業について

質問…市民と協働したまちづくりを推進するため平成十五年予算主要事業で二千四百万円が計上されているが、具体的にはどのような事業を展開するのか。

答弁…まちづくり市民活動の育成、支援については、大垣市まちづくり市民活動育成支援条例の施行に伴う予算等を計上している。

具体的には、郭町一丁目地内に設置する大垣市まちづくり市民活動支援センターの改修費用八百万円、管理を委託するNPO法人大垣まちづくり市民活動支援会議への委託費四百八十二万円、賃借料三百五十五万二千円等を計上した。

また、市民活動の人材育成事業として、会議の進行問題提起、全体評価等の重要な役割を担うまちづくり市民ファシリテーター養成事業五十万円、まちづくり市民活動育成支援アドバイザー派遣事業三十八万円、市民活動団体の継続的運営を支援するため、まちづくり市民活動助成金交付事業二百万円、条例制定後の啓発及び市民活動団体実態調査等百四万五千円を計上した。

今後、多くの市民に参画いただき、市民とともに取り組むパートナーシップ型のまちづくりの実現に向け、努力していきたい。

### 市民病院の南駐車場 について

質問…市民病院の南駐車場を利用する場合、時に待ち時間が長い。二葉町、羽衣町にある競輪場駐車場を利用し、シャトルバス運行により待ち時間の解消を図っているが、具体的にはどのような取り組みがあるのか。

答弁…市民病院では、昨年からの外来全診療科での予約制の導入や、午後の診療体制の見直し、来院者用駐車場の拡大を図るなど、来院時間の分散と各種待ち時間の緩和に努めている。

また、平成十四年四月の医療制度の改正により、長期投薬が可能になった影響もあり、一日当たりの外来患者数が約三千人であったが、現在では一割ほど減少しており、駐車場の利用待ち時間も徐々に短縮傾向にある。

しかし、正面及び南側駐車場では時々駐車場の利用待ちがあるのが現状であり、駐車場の利用待ち時間の緩和に向けて、駐車場用地の拡大等に努めるとともに、二葉町、羽衣町にある競輪場駐車場の活用については、今後の検討課題とした。

### 乳幼児医療費助成 制度について

質問…大垣市の乳幼児医療費助成制度は、西濃地域の中で、最低ランクと言われている。合併を進めつつある町で、大垣市並みの制度のところは、一つもない。

子どもを産み育てやすく、しかも市民の暮らしを守るといふことから、せめて小学校就学前まで拡大するべきと考えるが。

答弁…乳幼児医療費助成制度が、子育て支援の一環として大きな役割を担い、西濃地方すべての町村が就学前まで補助基準を拡大して実施していることは、十分承知しているが、昨年十月成立した健康保険法及び老人保健法の改正が、本市福祉医療費助成制度に大きな影響を及ぼし、市費の負担増となつていく。

このため、市単独事業として助成対象年齢を拡大することは現在の財政状況のもとでは、非常に厳しいものがある。県に対し、県に補助基準の拡大を引き続き要望していききたい。

また、観光事業は関連する産業が幅広いため、経済の波及効果が大きく、雇用も生み出し、街おこしなど地域振興にも役立つ。

### 新年度予算における 観光産業の振興策について

質問…観光事業は関連する産業が幅広いため、経済の波及効果が大きく、雇用も生み出し、街おこしなど地域振興にも役立つ。

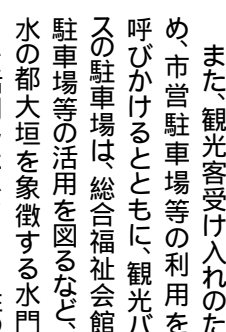
平成十五年予算において、たらい舟運行事業、四季の路・奥の細道句碑設置事業等が計画されているが、これらを成功させるため、観光客受け入れのための様々な対策は図られるのか。

答弁…平成十六年が、芭蕉翁生誕三百六十年に当たることから、今年から来年にかけて、芭蕉をテーマに、市内外から誘客を図る諸事業を展開し、地域に活力を生み出した。

平成十五年度は、たらい舟運行事業、水門川護岸句碑設置事業、四季の路・奥の細道句碑設置事業などを計画している。

また、観光客受け入れのため、市営駐車場等の利用を呼びかけるとともに、観光バスの駐車場は、総合福祉会館駐車場等の活用を図るなど、水の都大垣を象徴する水門川を活用したストーリー性のある事業を展開し、県内外から俳句ファンや観光客などを呼び込み、人々の交流を通じた地域の活性化を図ってきたい。

奥の細道むすびの地



奥の細道むすびの地

質問…揖斐川右岸堤高水護岸工事は、国の平成十四年度の補正予算が確保され、さらに約三百五十万円が発注されたと聞いている。平成十九年度の徳山ダム



### 揖斐川右岸堤高水護岸工事について

質問…揖斐川右岸堤高水護岸工事は、国の平成十四年度の補正予算が確保され、さらに約三百五十万円が発注されたと聞いている。平成十九年度の徳山ダム

完成予定までに、昨年七月のような豪雨がないとは言えない。揖斐川右岸堤高水護岸工事の早期完成を、県に強く要望すべき。

また、観光客受け入れのため、市営駐車場等の利用を呼びかけるとともに、観光バスの駐車場は、総合福祉会館駐車場等の活用を図るなど、水の都大垣を象徴する水門川を活用したストーリー性のある事業を展開し、県内外から俳句ファンや観光客などを呼び込み、人々の交流を通じた地域の活性化を図ってきたい。



揖斐川右岸堤高水護岸工事

平成十四年度の実施状況は、平町地内で高水護岸工事六百四十メートルが完成した。また、流下能力向上のため、福東大橋から揖斐大橋下流までを平成十二年度から平成十九年度までに百五十万立方メートルの掘削を予定しており、難波野地内では、昨年十一月に施工に入り、平成十四年度末で、約二十八万立方メートルの掘削が完了することである。

高水護岸工事については、議員を初め、地域の皆様の熱心な要望の結果、平成十四年度補正予算が確保され、平町の工事に引き続き、馬

瀬町地内三百五十メートルの区間を、既に発注したと聞いている。市としては、一日も早い完成を強く要望していききたい。

### バリアのない市営住宅の建設について

質問…平成十五年度に策定される公営住宅ストック総合活用計画は、身体障害者や高齢者の居住環境の整備も考慮された計画と聞いている。

今後、建て替えられる市営住宅の建設に当たっては、身体障害者や高齢者の「T」ズ等を十分把握するよう配慮したい。

答弁…公営住宅ストック総合活用計画は、既存住宅の有効活用を図るため、一定期間を対象として、建て替え、個別改善、全面改善、維持保全などの多様な取り組みにより、将来の住宅需要の確かな予測を行い、投資効果を勘案した適切な手法の選択のもとに、公営住宅を活用するための計画を、平成十五年度に策定するものである。

本市の市営住宅は耐用年数の二分の一を経過した住宅が六百二十一戸、約四十七パーセントある。今後、一斉に建て替え時期を迎えることが予想されるが、最近の社会、経済情勢をかんがみ従来の建て替え中心の考えから、全面的な改善などの既存住宅を有効に活用した適正な整備が必要である。

### あなたも本会議を傍聴してみませんか。

- ・傍聴される方は、直接市庁舎4階の傍聴席へお越しください。
- ・傍聴席は、75席(うち、車いす席4席)

#### ～傍聴者に守っていただくこと～

- 議場内の言論に拍手等で可否表明をしない。
- はち巻き、腕章、帽子等を着用しない。
- 飲食や喫煙をしない。
- 議長の許可なく写真撮影や録音をしない。
- 議会の妨害をしない。
- 携帯電話の電源は入れない。

傍聴する前に傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入ください。

※団体で傍聴を希望される方は、事前に議会事務局へご連絡ください。(議会事務局/電話81-4111 内線734)

市営住宅/和合団地D棟



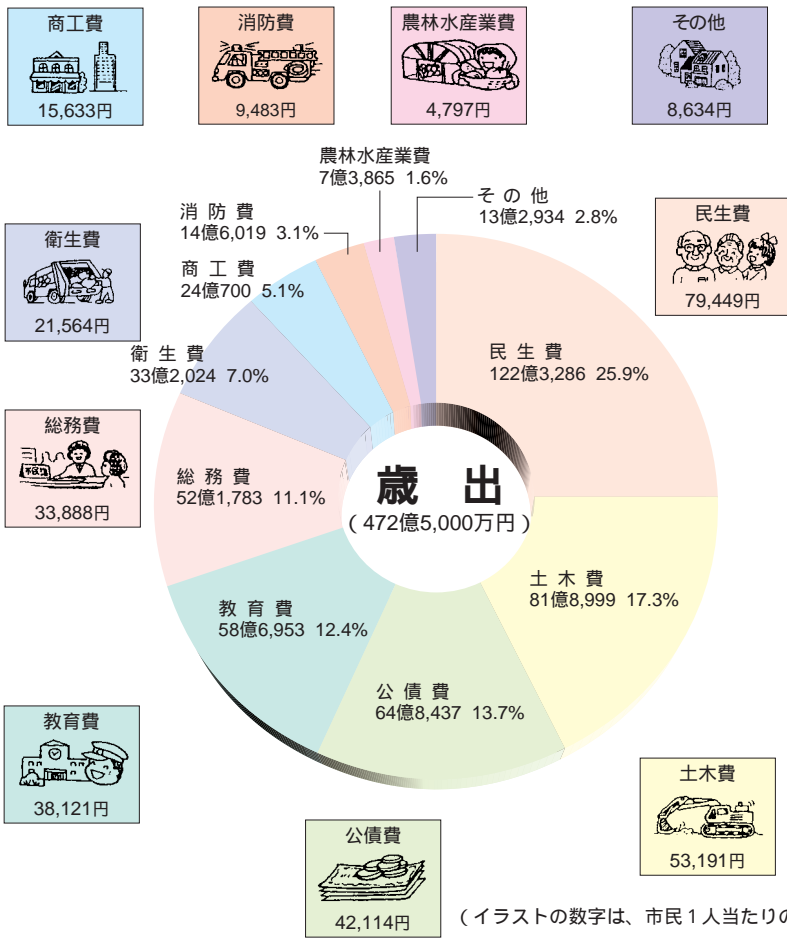
用についても、建て替え住宅はもとより、既存住宅の施設改善で取り組んでいきたい。

### 平成十五年度中の排水基本計画について

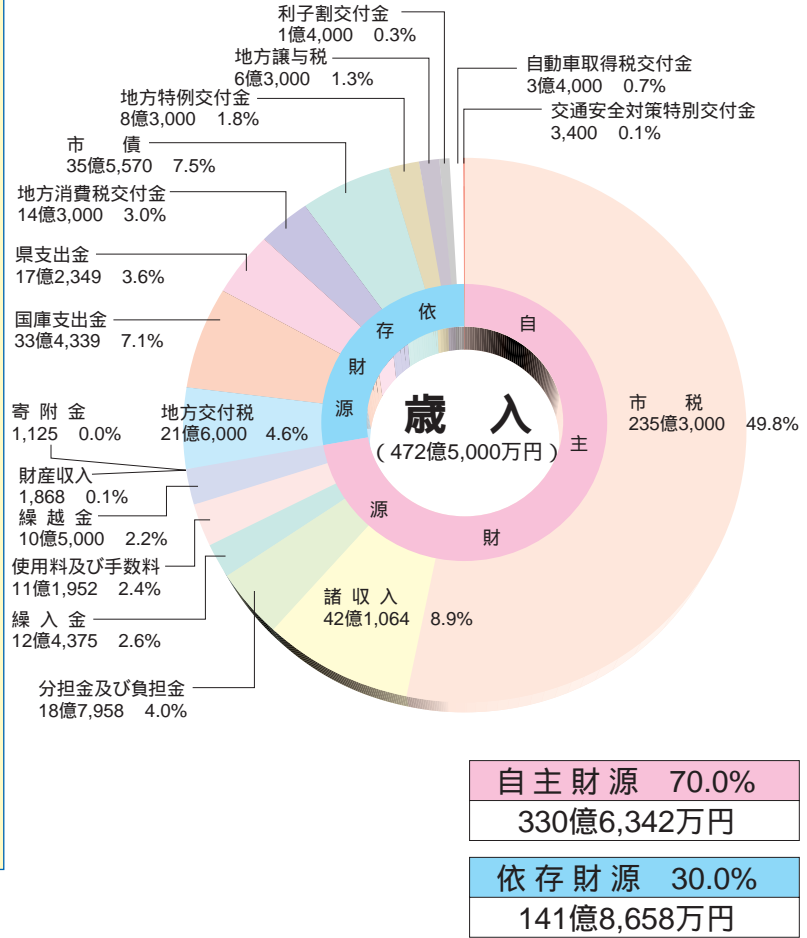
質問・平成十五年度中の排水基本計画の策定はどのように扱われているか。またプロジェクトチームを組

答弁・昭和五十一年に策定した大垣市排水基本計画は、策定後二十五年が経過し、都市化の進展に伴う土地利用形態の変化や、近年の降雨状況の変化など、計画を見直す必要が出てきた。このため、平成十五年度一般会計予算では治水事業を計画かつ効率的に推進するため、水路改良費の委託料として三千八百八十万円を計上した。計画の策定は、市域が広いことから、平成十五年度は杭瀬川以西を、市内の三分の二を占める杭瀬川以東は多数の一級河川が幅狭く、かつ流れて、流域の面積も広大であるため、平成十六年度、平成十七年度の二カ年に分割した見直し計画としたので、市内全体では、二カ年で実施を予定している。また、策定は専任職員などプロジェクトチーム等にて集中的に取り組む。また、治水対策は市町村合併後も市政の最優先課題として取り組む。

### 平成15年度大垣市一般会計予算(歳出) 単位:万円 %



### 平成15年度大垣市一般会計予算(歳入) 単位:万円 %



## グラフで見る平成十五年度一般会計予算

### 第一回定例会で議決した主な条例

- 一、大垣市男女共同参画推進条例の制定(四月一日から施行)
- 二、大垣市まちづくり市民活動育成支援条例の制定(四月一日等から施行)
- 三、大垣市教育振興基金条例の制定(公布の日から施行)
- 四、大垣市立ひまわり学園設置条例の制定(四月一日から施行)
- 五、大垣市立保育所設置条例の一部改正(四月一日から施行)

### 請願の審査結果

- 一、大垣市男女共同参画推進条例の制定(四月一日から施行)
- 二、大垣市まちづくり市民活動育成支援条例の制定(四月一日等から施行)
- 三、大垣市教育振興基金条例の制定(公布の日から施行)
- 四、大垣市立ひまわり学園設置条例の制定(四月一日から施行)
- 五、大垣市立保育所設置条例の一部改正(四月一日から施行)

### 意見書の採択

第一回市議会定例会で可決された意見書は、次のとおりです。  
イラク問題の平和的解決を求める意見書  
森林による温暖化防止などの施策の推進に関する意見書  
医療費3割自己負担の実施延期を求める意見書  
これらの意見書は、国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係大臣に実現されるよう要望するものです。